## 2025 年度第 1 回 JA 北海道厚生連 札幌厚生病院治験審査委員会 会議の記録の概要

開催日時	2025年4月16日(水) 17:00 ~ 17:30
開催場所	JA 北海道厚生連札幌厚生病院 本館・大講義室
出席委員名	本谷 聡、佐邊 壽孝、加藤 隆治、柴波 明男、岩永 一郎、桑田 靖昭、大塚 満雄、折茂 達也、日岡 隆矢、水本 桂子、戸板 成昭、荒 雅子、今 昌幸、宮川 健太

## 議論及び審議結果を含む主な議論の概要

#### 継続中の治験

## 議題 1 ノバルティスファーマ株式会社の依頼による特発性血小板減少性紫斑病患者を対象としたVAY736 の第Ⅲ相試験【24-14-D】

当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について 審議した。治験の継続に問題はなく、説明同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見 解が示された。

審議結果:承認

## 議題 2 │ 味の素株式会社の依頼によるクローン病を対象としたAJM300の第Ⅱ/Ⅲ相試験【09-06-C】

当該被験薬の開発中止、文書の保存期間等について報告された。

## 議題 3 潰瘍性大腸炎患者を対象としたウパダシチニブ(ABT-494)の安全性及び有効性を評価する第Ⅲ 相多施設共同長期継続投与試験【16-23-D】

当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について 審議した。治験の継続に問題はなく、説明同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見 解が示された。

審議結果:承認

## M14-431 試験又はM14-433 試験を完了したクローン病患者を対象としたウパダシチニブ(ABT-議題 4 494)の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照維持療法及び 長期継続投与試験【17-35-D】

当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、説明同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。

審議結果:承認

## 議題 5 クローン病患者を対象として、risankizumabの有効生及び安全性を評価する多施設共同無作為化 二重盲検プラセボ対照52週間維持療法試験及び非盲検継続投与試験【17-46-D】

当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について 審議した。治験の継続に問題はなく、説明同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見 解が示された。

治験実施計画書の変更の妥当性について審議した。

審議結果:承認

## 議題 6 潰瘍性大腸炎患者を対象としてrisankizumabの有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為 化二重盲検プラセボ対照52週間維持療法試験及び非盲検継続投与試験【18-06-D】

当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について 審議した。治験の継続に問題はなく、説明同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見 解が示された。

治験実施計画書の変更の妥当性について審議した。

審議結果:承認

## 日本人の中等症又は重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象としてOZANIMODを経口投与したと 議題 7 きの有効性及び長期安全性を評価する第2/3相多施設共同ランダム化二重盲検プラセボ対照試 験【19-01-C】

治験期間が1年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果:承認

## 議題 8

中等症から重症の活動期の潰瘍性大腸炎患者を対象とするグセルクマブの有効性及び安全性評価を目的とした第2b/3相、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間比較、多施設共同試験【20-01-C】

治験期間が1年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

軽微な治験実施計画書等の変更について報告された。

製造販売承認の取得について報告された。

審議結果:承認

# 議題 9 武田薬品工業株式会社の依頼による中等症から重症の潰瘍性大腸炎又はクローン病を有する日本人患者を対象としたベドリズマブ静注製剤の第3相試験【21-04-D】

当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、説明同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。

治験薬概要書の変更の妥当性について審議した。

軽微な治験実施計画書等の変更について報告された。

審議結果:承認

#### 

当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、説明同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。

審議結果:承認

### 議題 11 │ 活動性潰瘍性大腸炎を有する小児患者を対象としたウパダシチニブの第Ⅲ相試験【23-07-D】

当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、説明同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。

治験実施計画書、説明同意文書、アセント文書の変更の妥当性について審議した。

審議結果:承認

## 議題 12 中外製薬株式会社の依頼による中等症から重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象とした RO7790121の第Ⅲ相試験【24-18-D】

治験実施計画書、説明同意文書、治験参加カードの変更の妥当性について審議した。

治験薬概要書の変更の妥当性について審議した。

審議結果:承認

## 議題 13 小野薬品工業株式会社の依頼による ONO-4538 の肝細胞がん患者を対象とした術後補助療法の第Ⅲ相試験【18-07-D】

当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、説明同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。

審議結果:承認

## 外科的切除術又は局所焼灼療法後に画像評価により完全奏功を示した肝細胞癌患者を対象に術 議題 14 後補助療法としてのMK-3475の安全性及び有効性をプラセボと比較する二重盲検第Ⅲ相試験 (KEYNOTE-937)【19-04-D】

当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、説明同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。

審議結果:承認

## 議題 15 アストラゼネカ株式会社の依頼による肝細胞癌患者を対象としたDurvalumabの第皿相試験 【19-12-D】

当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、説明同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。

軽微な治験実施計画書等の変更について報告された。

審議結果:承認

## 議題 16 中外製薬株式会社の依頼による術後肝細胞癌患者を対象としたAtezolizumabの第皿相試験 【19-20-D】

当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、説明同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。

審議結果:承認

### 議題 17 │ 進行肝細胞癌患者を対象としたニボルマブとイピリムマブの併用療法の第Ⅲ相試験【19-21-D】

当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について 審議した。治験の継続に問題はなく、説明同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見 解が示された。

審議結果:承認

## 議題 18 MSD株式会社の依頼による肝細胞癌患者を対象とした MK-7902(E7080)とMK-3475 の第Ⅲ相 試験【20-03-D】

当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告、当該治験薬に関係する外国措置報告に基づき、引き続き 治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、説明同意文書の改訂も不要と 判断している旨の治験責任医師の見解が示された。

審議結果:承認

議題 19

代償性肝硬変(F4)を有する非アルコール性脂肪肝炎(NASH)被験者を対象としてセマグルチド及びCilofexor/Firsocostat 固定用量配合剤を単独投与又は併用投与したときの安全性及び有効性を評価する、第2相、ランダム化、二重盲検、ダブルダミー、プラセボ対照試験【21-19-C】

治験の終了について報告された。

議題 20

肝硬変前の非アルコール性脂肪肝炎(nonalcoholic steatohepatitis:NASH)成人を対象にMK-6024を投与した際の有効性及び安全性を評価する後期第Ⅱ相、無作為化、二重盲検、プラセボ対照、多施設共同試験【23-05-C】

当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、説明同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。

審議結果:承認

議題 21 次世代高感度HBVマーカー測定の肝臓疾患における臨床的有用性に関する研究【23-08-F】

研究の終了について報告された。

議題 22 MSD株式会社の依頼による、MK-3475を用いた治験に参加した患者を対象とした第皿相試験 【23-21-D】

当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、説明同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。

被験者の健康被害の補償について説明した文書の変更の妥当性について審議した。

審議結果:承認

議題 23 中外領

中外製薬株式会社の依頼による肝細胞癌患者を対象としたチラゴルマブの第Ⅲ相試験 【23-22-D】

当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性、「当該治験薬で発生した重篤な有害事象の報告漏れおよび副作用報告症例票内の記載不備に関する報告」について審議した。治験の継続に問題はなく、説明同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。

審議結果:承認

議題 24 成人のアルコール関連肝疾患(ALD)患者を対象としたGSK4532990の第Ⅱ相試験【24-15-C】

軽微な治験実施計画書等の変更について報告された。

治験費用に関する覚書の変更について報告された。

議題 25 高血圧疾患に対するPRDS-001検証試験【22-13-D】

軽微な治験実施計画書等の変更について報告された。

議題 26

血液循環腫瘍DNA陰性の高リスクStageⅡ及び低リスクStageⅢ結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのCAPOX療法と手術単独を比較するランダム化第Ⅲ相比較試験 VEGA trial 【20-05-F】

試験期間が1年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果:承認

議題 27 大腿骨転子部骨折に対するトゥリアスフェモラルネイルを使用した観血的整復固定術における安全性の検証【22-15-F】

費用精算について報告された。

#### 【製造販売後調査】

報告事項:終了1件

## 【特記事項】